

地域活動

医療ボランティア

活動に参加して

村松班 金子 義伸



平成二十三年三月十一日午後、一〇〇〇年に一度とも云われる大地震が東北関東地方を襲い、直後の津波被害、それに続く原発事故で今なお全く先行きの不透明な日々が続いています。全国各地で地震津波被害者、原発事故避難者の受け入れがされていますが五泉市も主に原発事故避難者を最盛期で約二五〇名ほど受け入れていたようでした。県医師会から当医師会に被災地への医師派遣を募る通知がありました。が日々の診療に追われる各先生にとってその要請に應える事は難しいのが現状です。医師会の先生方の多くが何か役に立て

ないかと思索していたところ避難者の方々の健康相談にのつてはとの話が持ち上り、早速、市に連絡したところ是非との返事を貰い歌川会長と相談の上、会員の先生方に参加を募りました。多数の先生方から参加したいとの連絡を頂き三月二十三日から週二回の相談を避難所のひとつの村松アリーナで行う事となりました。村松アリーナには約一〇〇名の避難者が滞在、初日には歌川会長と私の二名で午後から約十名の人達の相談にのりました。殆んどが問題の無い生活習慣病などの方で今回の震災に直接かかわるような疾病の相談も無く拍子抜けの感もありましたが、逆にそれだからこそ良かったとも考えています。

その後、避難者の他への移動、帰郷で相談者も減り、市と相談の上四月八日をもって中止といたしました。地元を離れる事は出来ないが被災に遭った人達に少しでも役に立てないかという思いは先生方も共通のものと思われ、多少なりとも医師会が役に立てた事は意義のある事であったと思います。これからもこのような機会には積極的に参加したいと考えます。

地震発生からすでに二ヶ月以上経過しますが被災地では今も体育館などで避難生活を送っている人が十万人を超えるという報道もあります。一体全体今の国、政府はどうなっているのか!!と憤りを覚えます。地震、津波、原発事故、風評被害の「四重苦」に遭っている人達への遅々として進まない支援、山の様に被災地に届けられた食料品はお上からの適切な指示が無く管理場所で腐っている所もあると聞きます。

菅直人は国会で「政府のやっている事はそれなりの評価を得ていると自負している」と答弁、厚顔無恥の最たるものです。左翼学生運動の末席を汚し、行き場を無くして市民運動家に転じ、政治家になる事が目的でリーダーシップも確たる国家観もなく自己保身、人気取りの為、唐突に打ち出されるその場凌ぎの政策。あるメディアが



避難所となった村松体育館 (さくらアリーナ)
避難されたみなさんの健康が確保されますように

(写真提供：五泉市役所)

鳩山前首相は日本で一番頭の良い無能な莫迦だが菅直人は日本で一番頭の良い無益な悪党と揶揄していましたが、そんな人物を国のトップに頂く事は国民にとって極めて不幸な事と思われ、残る三人、仙石、枝野、蓮舫氏を含め「四人組」の一刻も早い退場を切に願っています。

ーがんばろう東北!
がんばろう日本!ー

